

PAT-NO: JP410013609A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10013609 A
TITLE: FACSIMILE EQUIPMENT
PUBN-DATE: January 16, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY
TSUJI, MAKOTO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
RICOH CO LTD N/A

APPL-NO: JP08185507
APPL-DATE: June 26, 1996

INT-CL (IPC): H04N001/00 , B65H039/11 , H04N001/32

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To execute sorting by individual transmission sources and individual received time bands and to output information to different sorter bins by previously storing output sorter bin identification codes in accordance with transmission source identification information and extracting transmission source identification information from a received document signal.

SOLUTION: A facsimile equipment is provided with plural sorters for sorting received documents outputted to recording paper. The output sorter bin identification codes are previously stored in RAM 3 or a parameter memory 11 in accordance with transmission source identification information. A control part 1 constituted of CPU and ROM incorporating a program, and its extracts transmission source identification information from the received signal and outputs the received document to the sorter bin corresponding to information. The whole equipment is controlled by the control part 1 and a sorter unit 13 is controlled by a sorter control part 12.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-13609

(43) 公開日 平成10年(1998) 1月16日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00	1 0 8		H 0 4 N 1/00	1 0 8 L
B 6 5 H 39/11			B 6 5 H 39/11	N
				S
H 0 4 N 1/32			H 0 4 N 1/32	Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-185507

(22) 出願日 平成 8 年(1996) 6 月26日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

(72) 発明者 辻 誠

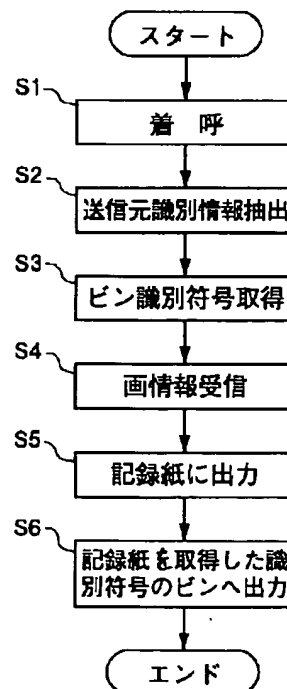
東京都大田区中馬込一丁目 3 番 6 号 株式
会社リコー内

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 送信元別や受信時間帯別に仕分けし、それぞれ異なるソータビンに出力することによって、受信文書の仕分けを容易にしたファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 記録紙に出力された受信文書を仕分けするための複数のソータを備えたファクシミリ装置において、予め送信元識別情報に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶手段と、受信時に受信信号から送信元識別情報を抽出する送信元抽出手段と、上記送信元識別情報に対応付けられた出力ソータビンに受信した受信文書を出力する出力制御手段とを備えた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録紙に出力された受信文書を仕分けするための複数のソータを備えたファクシミリ装置において、予め送信元識別情報に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶手段と、受信信号から送信元識別情報を抽出する送信元抽出手段と、上記送信元抽出手段により抽出された送信元識別情報が上記出力ビン記憶手段に記憶されている場合、上記送信元識別情報それぞれに対応付けられた出力ソータビンに受信した受信文書を出力する出力制御手段とを備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 記録紙に出力された受信文書を仕分けするための複数のソータを備えたファクシミリ装置において、予めボーリング文書送信元識別符号に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶手段と、受信信号からボーリング文書送信元識別符号を抽出する送信元抽出手段と、上記送信元抽出手段により抽出されたボーリング文書送信元識別符号が上記出力ビン記憶手段に記憶されている場合、上記ボーリング文書送信元識別符号に対応付けられたそれぞれのソータビンに受信した受信文書を出力する出力制御手段とを備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 記録紙に出力された受信文書を仕分けするための複数のソータを備えたファクシミリ装置において、予め複数の受信時間帯に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶手段と、それぞれの受信文書の受信時刻が上記複数の受信時間帯のいずれに属するかを判定する受信時間帯判定手段と、受信時間帯の対応付けられたソータビンに受信した受信文書を出力する出力制御手段とを備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は複数のソータビンに備えたファクシミリ装置に関し、詳しくは記録紙に出力された受信文書を予め設定した種別毎に、複数のソータのそれぞれに仕分けして出力する機能を有したファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】記録紙に出力された複数の受信文書が一つの出力トレイ上で重なってしまうと、そのなかから自分宛の受信文書を取り出すのに、多大な手間を要してしまう。上記のような問題を解決するため、従来から複数のソータビン（出力トレイ）を備え受信があったとき、文書毎に順次異なったソータビンに受信文書を出力していく方法や、例えば、当出願人が提供した特願平7-053452号に示されたファクシミリ装置のように、複数のソータビン（出力トレイ）を備え、出力される記録紙の紙サイズを判定し、予め紙サイズに対応付けて記憶しておいたソータビン（出力トレイ）に従って紙サイズに対応す

るソータビンに記録紙（受信文書）を出力する手段が知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記の従来提供されている仕分け方法では必ずしも上記問題が解決されるとは限らず、例えば送信元が異なる文書が同一ソータビンに出力されると、従来同様その仕分けに多大の労力を強いられ、その解決策が望まれていた。本発明は上記のような要求に応じるためになされたものであって、送信元別の仕分けを可能にし、または受信時間帯別の仕分けを可能にし、それぞれを異なるソータビンに出力するようにしたファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために本発明のファクシミリ装置においては、請求項1記載の発明では、記録紙に出力された受信文書を仕分けするための複数のソータを備えたファクシミリ装置において、予め送信元識別情報に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶手段と、受信信号から送信元識別情報を抽出する送信元抽出手段と、上記送信元抽出手段により抽出された送信元識別情報が上記出力ビン記憶手段に記憶されている場合、上記送信元識別情報それぞれに対応付けられた出力ソータビンに受信した受信文書を出力する出力制御手段とを備えたことを特徴とする。請求項2記載の発明では、記録紙に出力された受信文書を仕分けするための複数のソータを備えたファクシミリ装置において、予めボーリング文書送信元識別符号に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶手段と、受信信号からボーリング文書送信元識別符号を抽出する送信元抽出手段と、上記送信元抽出手段により抽出されたボーリング文書送信元識別符号が上記出力ビン記憶手段に記憶されている場合、上記ボーリング文書送信元識別符号に対応付けられたそれぞれのソータビンに受信した受信文書を出力する出力制御手段とを備えたことを特徴とする。請求項3記載の発明では、記録紙に出力された受信文書を仕分けするための複数のソータを備えたファクシミリ装置において、予め複数の受信時間帯に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶手段と、それぞれの受信文書の受信時刻が上記複数の受信時間帯のいずれに属するかを判定する受信時間帯判定手段と、受信時間帯の対応付けられたソータビンに受信した受信文書を出力する出力制御手段とを備えたことを特徴とする。

【0005】

【作用】本発明では上記のような手段にしたので、請求項1記載の発明では、受信文書は文書送信元別に仕分けされ、それぞれのソータビンに出力される。請求項2記載の発明では、受信文書はボーリング文書送信元別に仕分けされ、それぞれのソータビンに出力される。請求項

3記載の発明では、受信文書は受信時間帯別に仕分けされ、それぞれのソータビンに出力される。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、図面に示した実施の形態に基づいて本発明を詳細に説明する。図1は本発明の第1の形態例を示すファクシミリ装置の構成ブロック図である。図示したように、このファクシミリ装置は、内蔵されたプログラムに従って装置全体を管理、制御する制御部1と、操作者がファクシミリ装置に指示を与えるためのキーボードおよびファクシミリ装置が操作者にメッセージ等を与えるための表示手段などから成る操作表示部2と、画情報などを一時的に格納しておくRAM3と、原稿上の画像を読み取るスキャナ4と、符号化復号化部(DCR)8によって復号化された受信画情報をRAM3を介して出力するプロッタ5と、公衆電話網を介して遠隔のファクシミリ装置との間に呼を設定するための網制御装置(NCU)6と、G3伝送制御手順に従ってファクシミリ送受信を行う通信制御部7と、低速モデムおよび高速モデムから成るモデム9と、画情報を蓄積しておく画像メモリ10と、制御情報を記憶しておき電源遮断時に備えてバッテリでバックアップする機能をもったパラメータメモリ11と、図示を省略した複数のソータビンと、ソータ制御部12により制御されるソータユニット13などを備えている。さらに、上記RAM3あるいはパラメータメモリ11内には予め送信元識別情報に対応付けて出力ソータビン識別符号を記憶しておく出力ビン記憶部を備え、上記制御部1は受信信号から送信元識別情報を抽出する送信元抽出手段と、抽出した送信元識別情報に対応付けられたソータビンに、受信した受信文書を出力する出力制御手段を有している。なお、上記送信元抽出手段および出力制御手段はCPUおよびプログラムを内蔵したROMから構成される。

【0007】図2にこの形態例のデータフロー図を、図3に動作フロー例を、図4にビン識別符号と送信元識別情報との関係を、図5には送信元とソータビンとの関係の一例を示す。以下、図1～図5などによりこの形態例の動作を説明する。まず本形態例においては図4に示したように、受信時の動作に先立って出力ビン記憶部には、送信元識別情報に対応付けて出力ソータビン識別符号が記憶(登録)されているものとする。なお図4には、送信元識別情報が送信元端末番号である場合を示したが、送信元識別情報としてはこの例に限らず送信元名や送信者識別符号(ID)でもよい。また、出力ソータビン識別符号とはそれぞれの出力ソータビンに付けられた識別符号であり、この例では英字によって示したが、単なる番号であってもよい。なお送信元とソータビンとの関係付けは例えば、図5に示すように送信元識別情報がNSS信号のRTIとして設定される送信元名、出力ソータビン識別符号をビン番号とする。

【0008】上記の名設定において図3に示したよう

に、まずNCU6で着呼が検出され(S1)、例えばG3伝送制御手順の場合では、まず送受信端末間においてフェーズBの交信が行われ、TSI信号またはNSS信号を受信すると、その信号に設定された情報が通信制御部7から送信元抽出手段に渡される。その後、出力制御手段は出力ビン記憶部を参照して受信した送信元識別情報に対応した出力ソータビン識別符号を取得する(S3)。続いて、フェーズCに移行し、画情報受信が開始される(S4)、図2に示すように、制御部1の制御により(点線は制御を示す)、受信画情報は一旦画像メモリ10に格納された後、DCR8によって復号化され、RAM3内のラインメモリを介してプロッタ5に渡される。プロッタ5において受信画情報が記録紙に出力されると(S5)、上記出力制御手段はソータ制御部12に指令を出力し、前もって取得しておいた出力ソータビン識別符号に該当するビンに、印刷済みの記録紙を出力するように制御する。この制御に従って、ソータ制御部12はソータユニット13を制御して上記記録紙を指示されたビンへ出力する(S6)。なお、上記において、受信した送信元識別情報に一致する送信元識別情報が出力ビン記憶部に記憶されていない場合、および送信元識別情報が受信信号中に存在しない場合は、受信文書(記録された記録紙)を所定のビン(図4の例ではE)に出力する。このように、本実施例によれば、送信元別に受信文書を出力するビンを設定できるので、例えば特定の重要な相手からの受信文書を他の文書と異なったソータに容易に仕分けすることができる。

【0009】本発明は上記のように送信元別にソータを仕分ける他、送信元識別情報の代りにボーリング文書送信元識別符号(ID)を出力ビン記憶部に記憶(登録)することにより、ボーリング受信時、ボーリング文書送信元に対応付けて異なったソータビンにボーリング受信文書を出力させることも可能である。この場合、ボーリング文書送信元識別符号はNSS信号などで送られてくる。この形態例によれば、ボーリング送信元別に受信文書を出力させるビンを設定できるので、例えば特定の相手からの受信文書を容易に仕分けことができ、または不要な相手からの文書の仕分けも容易になる。

【0010】図6は本発明の他の形態例を説明するための図である、この例に示す実施例では、受信時間帯に対応付けて出力ビンの識別符号を出力ビン記憶部に記憶(登録)する。例えば同図6に示したような出力ビン記憶部を予め作成しておき、ファクシミリ受信が発生すると、受信時間帯判定手段は時計回路14からそのときの時刻を取得し、受信時刻がいずれの受信時間帯に属するかを判定する。そして、出力制御手段は受信時刻の受信時間帯に対応付けられたソータビンに受信文書を出力する。このように第2の形態例によれば、受信時間帯毎に異なるソータビンを設定できるので、例えば、受信時刻が前もって決定されている受信文書を容易に仕分けする

6

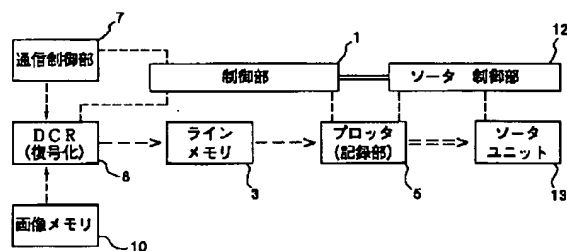
カソータビン識別符号を記憶し、それぞれの受信文書の受信時刻が上記複数の受信時間帯のいずれに属するかを判定することによって、受信時間帯に対応付けられたソータビンに受信した受信文書を出力するように構成したので、受信文書は受信時間帯別に仕分けされ、それぞれのソータビンに出力される。従って、例えば受信時刻が予め特定時刻に決定されている受信文書を容易に仕分けすることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【符号の説明】

- 1 制御部、2 操作表示部、3 RAM、5 プロセッサ、7 通信制御部、11パラメータメモリ、12 ソート制御部、13 ソータユニット、14 時計回路

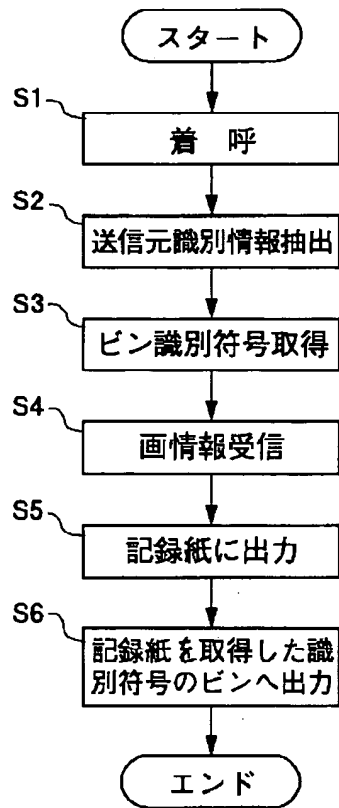
【図2】



【图4】

ビン識別符号	送信元識別情報
A	0455931342, 0337645174
B	0446679776, 0335683296
C	0331382454, 0456115491
D	0362253681, 0442582233
E	(その他)

【図3】



【図5】

送信元端末情報 (RT1)	ビン
* 東京販売 *	1
031234567	2
NSK	3

【図6】

選択開始時刻	選択終了時刻	ビン
0 時	10 時	1
10 時	12 時	2
12 時	14 時	3
14 時	15 時	4
16 時	17 時	5
17 時	20 時	6
20 時	24 時	7